

原子力対策特別委員会視察研修報告

日時 平成 22 年 10 月 25 日（月）～ 27 日（水）

研修先

神奈川県横須賀市 (株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

原子力発電の燃料体の製造加工の工程を視察し、どのように燃料体ができていくのかを学んだ。ウラン粉末をペレットに成形し、それを高温で焼き固めセラミックにし、燃料棒の中に入れ、その燃料棒を組み立てて燃料体にするというもの。製造された燃料体の輸送も行っている。

茨城県東海村 日本原子力発電(株)東海発電所・東海第二発電所

東海発電所では、平成 13 年に廃止措置に着手し、平成 18 年に計画の認可があり、現在工事が進んでいる。発生する廃棄物は、国が定める放射性物質のレベル区分に応じて処理処分され、その中でリサイクルできるものはすべて再利用している。

東海第二発電所では、使用済燃料乾式キャスク貯蔵施設を視察した。この施設は、使用済燃料を再処理するまでの間、安全に貯蔵管理するもので、実際に貯蔵施設の中に入っただけの見学を許された。燃料を入れたキャスクは、外径 2.4m で全長 5.7m という大きさで、ここの施設には 24 基貯蔵できるというもの。除熱にはヘリウムガスを充填し、伝熱フィンを設置している。キャスクを触ってみたが、暖かかく感じる程度であった。貯蔵施設内には、冷却・遮蔽・閉じ込め・臨界防止などの機能が確保されていた。

茨城県日立市 (株)日立製作所日立事業所 臨海工場・海岸工場

日立市内の広大な敷地の中にあるいくつかの工場のうち、海岸工場と臨海工場を視察した。浜岡原子力発電所でも使用されている原子力発電機器やガスタービンなどの製造過程を見学した。

中部電力(株)は、浜岡原子力発電所において、プルサーマルを実施していく。また、廃止措置計画についても進めており、使用済燃料乾式貯蔵施設建設計画も公表した。

牧之原市は、浜岡原子力発電所を隣市に抱えていることは現実であり、これから先も変わることはない。原発については賛否両論ある中で、市民も常に不安を抱えていることは事実である。議会としても、この先も、原子力発電についての調査研究をし、環境安全等についても、慎重に議論していかなければならないという思いを新たにしたい。



(株)グローバル・ニュークリア・
フュエル・ジャパンにて



(株)東海発電所・東海第二発電所にて



(株)東海発電所・東海第二発電所にて



(株)東海発電所・東海第二発電所にて



(株)日立製作所日立事業所にて